

10 以下の内容が正しければ○、誤っていれば×をつけなさい。

- ① 局所麻酔は局所へ麻酔薬を注射し知覚神経を麻痺させる。○
- ② 脊椎麻酔（脊髄クモ膜下麻酔）は脊髄を穿刺し、麻酔薬を注射し知覚神経を麻痺させる。×
- ③ 脊椎麻酔（脊髄クモ膜下麻酔）の穿刺は脊髄が馬尾神経となる Th 12 以下の椎間から行う。×
- ④ 髄液の比重は 1.003-1.009（平均 1.006）である。○
- ⑤ 太く、髄鞘を持つ繊維は麻酔薬が効きにくい。○
- ⑥ 硬膜外麻酔は脊椎麻酔（脊髄クモ膜下麻酔）に比べ、分節性に富む。○
- ⑦ 気道確保は用手的に行うことができる。○
- ⑧ 一般的な非脱分極性筋弛緩薬は拮抗できる。○
- ⑨ 気管挿管時。直視下に声帯を見ることは不可能である。×
- ⑩ 肺動脈楔入圧は右心系前負荷の指標である。×

11 以下の検査のうち放射線を使用する検査を選びなさい。（複数可）

- a 超音波検査
- b CT検査
- c 消化管透視検査
- d MRI検査
- e 核医学検査（シンチ検査）
- f 血管造影検査

12 以下の文章のうち正しいものを選びなさい。（複数可）

- a CT検査においては、検査中は検査室内に入るべきではない。
- b MRI検査においては、検査中でなければ自由に検査室に入ってよい。
- c 超音波検査においては、検査中でも検査室内に入ってもよい。
- d 核医学検査においては、検査後の患者をしばらく隔離しなければならない。
- e 血管造影検査においては、検査中は非常事態に備えるため常に検査室内で患者の側にいなくてはならない。

次頁あり